

## 一般的な病院建設フロー図

### 基本構想

どのような病院にするのかなどの方針を決定する段階。

### 基本計画

基本構想を受けて、新病院の規模や部門の整備などの設計の与条件をまとめる段階。

<具体例>

病室においては、病床数（一般病床〇室、回復期リハ病床〇室など）、個室率、看護単位、どのような特殊病床を設けるかなどを確定する。

現在地

### 基本設計

基本計画を踏まえたコンセプトに基づき、設計条件（法規、課題、インフラなど）を整理した上で、配置、平面と空間構成、面積、機能、デザインなど完成時の姿を明確にする段階。

<具体例>

病室においては、病棟に応じた必要寸法、配置、1室における1ベッド当りの面積、4床室トイレの考え方、家具の考え方、医療用アウトレットの考え方などを確定する。

### 実施設計

基本設計図書に基づいて、デザインと技術面の両面にわたって詳細な設計を進め、工事の実施に必要で十分な実施設計図書を作成する段階。

<具体例>

実施設計においては、基本設計を詰めて、施工に必要となる図面を作成する段階のため、特に決定項目はない。

### 建設工事

詳細な施工図を作成し、具体的なプロット（手洗いやスイッチ、コンセントなど）の位置や仕様を機能性などを踏まえて検討をする段階。

<具体例>

病室においては、使い勝手を加味した具体的なベッドや収納のレイアウトと、それに伴うコンセントの位置などを確定する。

### 建物完成